



- P2 12月議会概要、賛否一覧
- P3 議案審議ピックアップ、
議会活性化特別委員会報告
- P4～13 一般質問で町政を問う
- P14 常任委員会報告
- P15 町村議会議長全国大会、
最近の主な議員活動
- P16 要望書、編集後記

令和7年 **12** 月議会
第**83**号

議会だより

■ 標題は白石小学校4年 川崎このみさんの作品です。



12月定例議会概要

12月定例議会は、12月5日から12日までの8日間で行いました。

町長から、補正予算や条例改正など15件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て、全て可決・同意されました。

一般質問は10人が行い、まちづくり、産業の振興、学校教育、環境政策などについて執行部の考えを質しました。

賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	溝上 広行	南里 隆司	田島 隆一	吉岡 正博	岸川 信義	友田 香将雄	重富 邦夫	中村 秀子	定松 弘介	前田 弘次郎	吉岡 英允	草場 祥則	片瀬 栄二郎	西山 清則	溝上 良夫
59	町議会議員及び町長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスター等の作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び町長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	長寿祝金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	有明スカイパークふれあい郷の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	財産の取得（有明小学校備品 児童用机、椅子）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	教育委員会委員の任命（堤王宏氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	固定資産評価審査委員会委員の選任（溝上光一氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	固定資産評価審査委員会委員の選任（大田尾一美氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	固定資産評価審査委員会委員の選任（門田由美子氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和7年度一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	令和7年度下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	財産の取得（（仮称）白石地域新設小学校整備事業に係る学校用地）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。

令和7年12月議会定例会には、19人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！



●議案第59号の採決

議案審議ピックアップ

議案第63号 要旨 長寿祝金の支給対象年齢の80歳を削り、85歳、90歳、95歳、100歳以上を対象とする。	
Q西山清則議員	支給対象を88歳（米寿）、99歳（白寿）、そして100歳以上としてはどうか。
A長寿社会課長	既存制度を大きく変えない形で改正したい。過去に77歳、88歳、99歳を対象に商品券を贈っていたが取りやめた経緯もある。

議案第64号 要旨 令和8～13年度の有明スカイパークふれあい郷の指定管理者について、公募は行わず引き続き（公財）白石町文化振興財団を指定したい。	
Q溝上広行議員	指定の条件として、改善指標の設定、計画の策定を求めているかどうか。
A企画財政課長	財団と協議をしていきたい。
Q友田香将雄議員	財団のHPに財務情報が掲載されていないが、法令に定められた情報公開を適切に行っているのか。
A企画財政課長	国のシステムには掲載予定であるが、財団HPへも掲載する方向で財団と協議したい

議案第70号 補正予算 センター給食材料費 要旨 R7.11～R8.10の給食の米飯は「ひなたまる」となっている。	
Q中村秀子議員	多様な品種の米を食べてもらうような運用はできないか。
A学校教育課長	現状、ひなたまるが一番安価であり費用増加が懸念される。
Q溝上広行議員	米の価格が下がった場合は検討できないか。
A学校教育課長	契約相手と協議し合意となったら可能。

議会活性化特別委員会 報告

9月に設置された議会活性化特別委員会は活動を開始しました。

議会の存在意義を高め議員の成り手が増えるよう、次のスケジュールで議会活性化を調査・検討します。令和11年1月と予想する町議会議員選挙が投票になるよう、選挙の1年前までに議員定数についても検討します。

なお、取り急ぎ、①議員意見交換（議員間討議）の実施ルール、②提案議員の反問権、③予算・決算勉強会も検討します。

	時 期	調査内容
令和7年度	9月定例会	委員会設置
	10月～3月定例会	調査事項・スケジュールの確認 議会基本条例の検証
令和8年度	4月～3月定例会	議会活性化事項の検討・試行 議員成り手不足対策
令和9年度	4月～12月定例会	議員定数の検討
	1月～12月定例会	
令和10年度	1月？	（議会議員選挙）

問 プラスチックごみの回収は

答 今はサーマルリサイクルが最適であるが、今後リサイクルを考えるのもやぶさかではない

議員 日常生活で出るごみは人口減にも関わらず大きな減少はないが、処理コストは高くなっている。また燃えるごみの多くはプラスチック由

来のものである。温暖化が住民の生活と産業を脅かしている。本町で、一度は実施していたプラスチックごみの回収を中止しているが、プラ

YouTube動画



なかむら ひでこ
中村 秀子 議員

スチック資源循環促進法という新しい法律ができ、他の市町でもプラスチックごみを回収し資源化する方向で動いている現在、本町としてもプラスチックごみを回収し、環境に対する意識を啓発するとともに、持続可能な社会の実現に向けて施策を転換すべきではないのか。

生活環境課長 平成9年の容器包装リサイクル法施行後、資源物は指定袋にて回収し収益も生じており、各地域に還元している。プラスチックごみも回収しているが、さが西部クリーンセンターの稼働に合わせサーマルリサイクルが可能になり燃えるごみとしてある。これにより幾

つかの負担が軽減できた。

クリーンセンターの焼却施設では、プラスチックと燃えないごみや粗大ごみも一緒に溶融し、無害化したスラグとメタルに再生し有価物として売却している。今の段階ではこれが最良という結論である。

町長 県内や国内の状況を見ながら検討を始める事はやぶさかではない。



●プラごみリサイクルの現場を視察

問 いじめ・問題行動発生時の職員の対応は

答 子どもの話をよく聞き、組織的に対応する

議員 いじめは人権侵害であり犯罪である。また問題行動も安心安全な学校生活を阻害するものである。現在の状況を聞き、学校での対応をどうしているのかを質した。

主任指導主事 今年度は10月末現在で、いじめの認知は小学

校60件、中学校18件。問題行動の発生件数は小学校1件1人、中学校28件30人となっている。中学校での問題行動の数字はのべ人数で、実数は数人の生徒である。特定の生徒が教師への暴言を繰り返すケースが見られる。加害・被害双方の意見の違いや、双方の保護者からの納得が得られず、時間がかかるケースも増えている。いじめ・問題行動の未然防止に力を入れ校長のリーダーシップのもと組織的に取り組む。



たしま りゅういち
田島 隆一 議員

問 災害への備えは万全か

答 確実な情報伝達の基に避難場所へ

議員 避難所の収容能力と備蓄状況、要

配慮者への対応は。

総務課長 指定避難

所22箇所まで4840人の収容を確保。備蓄は飲料水3822リットル、食料6494食分。7か所を福祉避

難所として位置づけている。

議員 独居高齢者への情報伝達体制は。

総務課長 令和6年

度に防災行政無線の機能を拡充し、町公式LINEやホームページへの同時配信

が可能に。独居高齢者には自主防災組織や民生委員と連携して確実な情報伝達を行う。

議員 自主防災組織の状況は。

総務課長 町では28

組織が結成され、組織率は45・7%。訓練参加者の高齢化が課題だが、防災職員の派遣や資機材整備等の支援を継続する。

議員 避難所への空調設備整備は。

企画財政課長 体育

館の使用頻度や再編計画、費用面を考慮し、優先順位を決めて前向きに検討する。

問 デジタル化で暮らしやすくなったか

答 生活の利便性向上をもたらしているが不慣れな方への配慮が必要

議員 町民の実感をどう把握しているか。

総務課長 利用者ア

ンケートで把握。コンビニ交付事業の5段階での満足度は4・6、オンライン化推進事業では81%が継続利用したいと希望している。

議員 マイナンバーカード交付率と利用状況は。

住民課長 保有率85・

84%（県内4位）。コンビニ交付の利用率29・54%、マイナ保険証の利用率は国保79%、後期高齢者の利用率48・6%。

議員 24時間手続き

可能なサービスは。

総務課長 現在55の

届をオンライン化。転出届、パスポート申請、児童手当、介護保険関係、口座振替登録、公共施設予約など。町公式LINEから簡単にアクセス可能である。

議員 Aーチャット

ボットや町民参加型プラットフォームは。

総務課長 Aーチャ

ットボットはホームページの導入を検討中。町公式LINEで「相談・通報フォーム」の運用を開始した。

議員 デジタル化に

よる削減効果の還元は。

総務課長 単純作業

の自動化に取組み、削減できた業務時間を町民に寄り添うサービスに重点的に配置。窓口開庁時間の短縮も検討し、職員自らが政策立案機能を強化することで、町民サービスの質を向上させる目的で、全国の先進事例を参考に、実施に向けた調査を行っている。



問 観光協会の情報発信は

答 SNSを活用した情報発信

議員 コウノトリについて情報発信がないように見えるが何故なのか。

商工観光課長補佐

コウノトリは、環境の変化や人の接近などに敏感な鳥であ

り、繁殖期や子育ての時期には、ちよつとした人の動きや騒音が大きな影響を及ぼすので、積極的な情報発信を控えている。



YouTube動画



まえ だ こう じ ろ う
前田 弘次郎 議員

問 有明地域3小学校跡地の今後の利活用は

答 適切な時期に議員や住民の皆さまに
お示しする

議員 跡地の利活用について有明地域からの要望書は出ているのか。

総合戦略課長 要望

書は深浦区の方から提出されており、コミュニティの場としての活用や避難所としての活用を要望されている。

維持管理面での財政的負担を分析しながら、将来的な持続可能性について探っていく。

今後特に地元の有明地域の皆さまからのご意見を参考に学校跡地活用に関する

る協議を進めていきたい。



●有明地域づくり協議会設立総会

問 深浦渡平線の今後の対策は

答 適切な維持管理に努める

議員 町内の町道竜王坂田線の状況はどうなっているのか。

建設課長

この路線は、大雨や強風による落葉や車道への草・枝の侵入、また、イノシシによる道路路肩部の掘り起こしによる転石を確認したため、11月上旬に清掃作業を実施した。





みぞ かみ ひろ ゆき
溝上 広行 議員

問 公募型プロポーザルの応募が1件のみ
今後の改善点は

答 結果は残念だが、実施方法自体は問題
なかったと判断している

議員 広報戦略推進事業で公募型プロポーザルを実施したが、応募が1件のみ。町の評価は。

総務課長 公募の広報は役場掲示板とホームページで行った。

入札情報検索サービス等で事業者には伝わっていたと考えている。応募が1件は残念な結果であった。 **議員** 県内の複数事業者に確認したところ、公募を把握して

おらず、検索サービスの利用もなかった。手続きに問題や改善点はなかったのか。

総務課長 官公庁や自治体で一般的に行われている方法であり、問題はなかったと判断している。

議員 今後、競争性を確保するための改善策は。

企画財政課長 問題があつたとは考えていない。事業者にとつても参加しやすいような条件を適切に審査していきたい。

議員 事前調査による情報提供や、仕様書作成段階での意見聴取など、改善の余地はあると考えるが。 **企画財政課長** なんら方法として間違つてはいなかったと考える。

問 「しろめし町しろいし町」ロゴデータ
公開は

答 商標登録を申請中。3月頃に登録予定

問 町としての地域活性化の定義は

答 産業、経済、文化、コミュニティが
盛り上がり、賑わいが創出され、活力
をもたらす取組

問 道の駅は自立運営を目指すべきでは

答 公共施設であり、町全体の収入から
賄う考え

議員 町財政における道の駅に関する収入の試算をする意義についての見解を伺う。

副町長 道の駅は町全体の収入で賄うものと考えており、財政計画や町債の償還計画などに計上している。

議員 道の駅という単体事業が町財政に

どう影響しているのか評価することへの認識は。

副町長 公費分と民間分は、分けて管理するものと考えている。町財政としては、町債の償還が令和16年度まで、指定管理料が年1800万円。カンパニーへ運営補助は行っており、影響はない。

議員 売上額では健全性は判断できない。利益や費用対効果などの指標が必要と考えるが。

副町長 カンパニーの利益は把握できるが、出荷者の所得把握は困難。今後も売上を注視する。

議員 町行政経営プランの「コスト削減」「資源の最適配分」の方向性と整合が取れているのか。

副町長 指定管理料は施設の維持管理に必要な額で算出しており、整合している。 **議員** 近隣の道の駅では自立運営の例もある。本町も目指すべきでは。

町長 公共施設の維持管理は運営と切り離して町が責任を持つものと思っている。

問 町内に企業の支店を誘致して商工業振興を

答 スモールビジネスを視野に入れた企業誘致を進めたい

議員 入札における

町内事業者の受注機
会の増大策について
町の取り組みは。ま
た課題は。

企画財政課長 随意

契約が可能となる基
準額の引き上げ、指

名委員会にて業者の

選定を行う際に町内
事業者を第一基準と
すること等を現状実
施。入札における必
要な等級・資格を満
たす業者の不足や、
入札を複数事業者で

入札を複数事業者で

YouTube動画



ともだ かずお
友田 香将雄 議員

行う必要がある場合
に町内事業者が限ら
れる事などが課題。

議員 スモールビジ

ネスの誘致が必要で
は。

総合戦略課長 スモ

ールビジネスの視点
は大変有効であると
認識。地元企業との
連携や協業によるビ
ジネス展開も考えら
れるなど、地域経済
の活性化が期待され
る。



●町内進出の株式会社スチームシップ

議員 企業の支店(サ

テライト)が町内に
進出することで法人
住民税等の税収も期
待される。支店の誘
致やサテライトオフ
イスなどの確保も必
要ではないか。

総合戦略課長 スモ

ールビジネスの集積
による産業クラスタ
ーの形成・構築する
ことは有効。スモー
ルビジネスやサテラ
イトを視野に入れた

企業誘致を進めたい。

サテライトオフィス
についても一考に値
すると思う。

議員 住ノ江住宅の

建て替え計画の見直
しが必要と考えるが、
代替として民間賃貸

住宅を利用した家賃
補助制度の導入が出
来ないか。

建設課長 住宅家賃

補助制度は県外の事
例も調べ検討をした
い。

問 自治体に対する受信料の支払いを
免除するようNHKへ申し入れを

答 町村長会で議論をしたい

議員 NHK受信料

未払における支払額
は。

企画財政課長 白石

町として123万円
を支払った。

議員 通常視聴を目

的としない自治体や、

そもそも視聴を目的

としない公用車のカ

ーナビまでNHK受

信料の支払いを行う

ことについて全国的

に問題であると声が
上がっている。本町
も声を上げるべきで
は。

町長 町村長会の中

でも議論されたこと
がある。勉強し、議
論を再開したい。

※その他、歌垣ロー
ドレース大会のネー
ミングライツについ
て質問を行った。



お くに しげ 重富 邦夫 議員

問 町内全域の都市計画区域拡大の目的は

答 住民の安心安全の担保には「秩序あるまちづくり」が必要

議員 住民生活や開発規制に大きく影響する。目的と意義は。
町長 建築基準法上の集団規定が適用されるため、住民生活・開発規制には少なからず影響があると認

識している。しかし、住宅密集地で災害が発生した場合、緊急車両が通行できる道路の確保が迅速な消火・救助活動につながり、甚大化を防ぐ。また、無秩序な開発

を抑制することにより、住環境の秩序を維持することができ。一番の目的・意義は、住民が安心安全に暮らせる秩序あるまちづくりを進める基礎づくりと認識している。

議員 区域の見直しは、県の指導か。町独自の判断か。

総合戦略課長 平成21年に区域を拡大する方向性を決定している。令和2年に県から将来を見据え、都市計画事業の必要性などの助言を頂いている。指定は県が行うが、町は区域拡大の必要性があると考えている。

議員 住民や事業者の理解と合意形成が必要では。

総合戦略課長 新たに都市計画となるエリアの方は、建物の

新築・改築の際に新たな手続きが発生するなど、個々人で見ればデメリットと誤解されるかも知れないが、安心・安全のためにもご理解を頂きたい。

問 町内全域ではなく、一部山林や干拓地を除外する考えは

答 区域外で無秩序な開発が行われないよう全域としたい

議員 農業用倉庫や住宅建築などの影響は。

建設課長 建築基準法の適用で、原則すべての建築物の新築に建築確認申請が必要。このことにより、

地域の安全性を確保し、快適な住環境につながる。

議員 白石町は農業が盛んである。整合性は。

総合戦略課長 現行

区域内の白石、六角、須古地区は、計画に起因する深刻な問題はなかった。農業生産そのものに規制はなく、営農上問題ない。

議員 新たな交付金や補助事業、事業債などについては。
総合戦略課長 様々な分野で事業支援メニューがあり、かなりのメリットがある。

議員 住民説明会では、専門知識のない方にもわかりやすい資料が必要では。
総合戦略課長 専門的な用語や制度が多く含まれるため、地図やイラストを用いて日常的な言葉に置き換えて説明する。すべての方に伝わり、理解できるよう県と共同で臨む。

問 観光資源の有効活用を

答 発信方法の改善も重要である

議員 しろいし町観光協会が発足して一年が経過し、多くの

取り組みも行われているが、それにより

人の流れはどの様

に変わったと認識して

いるのか、交流人口

の拡大には、どの様な

方策が有効であるか。

商工観光課長補佐

取組む事業の多くが実施・開始段階であるため、来訪者デ

ータなどの集積や分



YouTube動画



にしやま きよのり
西山 清則 議員

析はこれから行っていく。今後は、新たに始まる事業の効果

を丁寧把握し、本町の観光振興に反映

していく。

また、交流人口から関係人口へと発展

していく環境を生み出すことで、白石町

の持続的な活性化につなげていきたい。

議員 町の歴史(史

跡)等も含めて幅広くPRする必要があ

るのでは。また、町内の児童生徒には、

各学校の歴史や地域の遺跡等は、後々ま

で伝えるように教えていただきたい。

商工観光課長補佐

歴史や史跡のPRを進めるには、現地での案内の工夫や、スマートフォンで手

軽に情報を得られる仕組みづくりなど、発信方法の改善も重要と考える。

学校教育課長 児童

生徒が郷土の歴史や文化に触れる町内の

史跡巡りを実施している。そして、その

魅力を再発見し、郷土への誇りを育むこ

とができるよう努めている。

議員 ドラゴーン

グスポーツは大きく注目されているが、

そのPRに関して、町内外を含めてどこ

まで浸透しているのか。

総合戦略課長 各種

の全国・九州大会など出場した際に、クラブの創業や事業の取組、更には白石町の魅力まで発信され、

選手はもとより一般の参加者にも広く周

知いただいている。

問 野菜残渣処理施設の進捗状況は

答 農地転用許可まで、一年程度かかる

議員 クリーン発酵

九州建設予定の進捗状況は。

農業委員会事務局長

財産処分協議終了後、大規模な農地

転用となるため九州

農政局との転用協議が行われ、財産処分

完了と同時に農地転用許可となり、一年

程度かかる見込み。

生活環境課長

農地転用、財産処分等の手続き終了後、事業者と公害防止協定を締結する。





YouTube動画



なんり 南里 隆司 議員

問 全力で、オスプレイの飛行による事故、被害の防止を

答 しっかりと取り組んでいきたい

議員 本町の上空の

オスプレイの飛行が常態化している。直近の佐賀新聞の世論調査でも、約8割の人が安全性に不安があると回答。現在の状況を、どのように把握し、どう考えて

いるのか。

総務課長

本町上空の飛行については、確認している。今後も直通の連絡体制を使って情報収集を行っていく。町民の通報にも迅速に対応したい。

議員

公式の交渉の場で、防衛省は「要望があれば説明に足を運びたい」と表明している。この問題の防衛省、県による住民説明会の開催を求めるか。

町長

本町の飛行が、他の自治体より回数などの点で際立っていると判断すれば検討する。

問 物価高騰の中、命の水の値上げに反対する

答 町として負担軽減の支援策を決定した

議員

水道法は、低廉な水の供給を定めている。町民からは「命の水まで値上げか」という悲痛な声が上がっている。今後、更なる値上げが検討されるのか。

生活環境課長

インフラの老朽化などの問題があり、佐賀西部広域水道企業団で、今回の値上げが決定された。今後も一定の時期に料金の見直しが行われる。



●飛行するオスプレイ

問 本町の小中学校で働く教職員の働き方改革の推進を

答 子ども達により一層しっかりと向き合えるよう取り組んでいるところである

議員

教職員の勤務状況が社会問題化している。時間外労働の多さや深刻な教員不足も指摘されている。本町の教職員の勤務状況については、また、どのような問題意識持っているか。

主任指導主事

本町も教員不足が生じており、カバーするための負担が大きくなっている。
教育長 負担軽減に取組んでいる。より良い環境で働いてもらえるよう力を尽くしたい。

問 補聴器購入に対する補助制度の導入を

答 現段階では、様々なことを注視していきたい

議員

認知症発症と聴力低下に因果関係があるという指摘がある。補聴器購入に対する補助制度を町も作るべきだと考えるが。

長寿社会課長

明確な根拠がまだ確立されておらず、この問題をめぐる動向を注視していきたい。

問 福富小スクールバス政策決定の透明性を

答 今後は慎重に協議し合意形成を図る

議員 福富小スクー

ルバスは、9月議会で「教育委員会で議論し、規則は福富小もバス対象」と事実と違う答弁をした原因は。

新しい学校づくり課長

8小学校を3校に再編したのですべて

の児童の教育環境整備をする観点から当初より対象としたが、教育委員へ説明が不足した。11月委員会で改正承認を得た。

議員 立場上今更「教育委員の意に反して、規則に沿わず」と言えないと思う。

えな



YouTube動画



よし おか
吉岡 正博 議員

教育委員全員が「福富小もバスと認識していなかった」の発言は。

教育長 「認識なかった」と回答された。

議員 規則第2条のバス使用範囲「遠距離通学となった」変化した児童に福富小は該当するか解釈は。

副町長 そういった捉え方になるのかなと思う。

議員 変化しない福富は該当しない。

事実をつなげると「教育委員は福富小をバス対象に考えていなかった、規則も対象外」となり、後でどこからか「福富小も」の話がでてきたと推察する。

規則改正も教育委員ににくいちがいのある論点を的確に伝えず改正している。

福富小は、度々不透明な決定がされ気になる。政策決定にスピード感が必要だが透明性も必要、良い政策も決定過程が不透明だと不信感を招くが。

町長 今後は慎重に協議し合意形成を図るよう指導した。

議員 福富小のスクールバスは、有明・白石の統合に伴うではなく、児童減で集団登校が困難になる、気候変動で健康面を考慮議論すべき。

白石町スクールバス条例 施行規則(改正前)(使用の範囲)
第2条 条例第2条に規定する遠距離通学児童生徒とは、学校の再編に伴い遠距離通学となった児童及び生徒をいう。

問 地域役員負担軽減の協議結果は

答 案内・開催方法を見直す

議員 駐在員、公民館長、民生委員同時の案内行事だけでも年6行事。9月議会で「負担軽減を協議する」と答弁だったがどうされたか。同時や隔年開催など役場全体で減らすことを取り組めないか。

生涯学習課長 案内・開催方法の見直しをする。

保健福祉課長補佐 主催団体に検討を働きかける。

学校教育課長 参加は各自の判断で願っている趣旨の案内に変更した。

副町長 開催方法も含め地域役員の負担を検討する。

議員 民生委員の選出は地域に負担だが、地域まかせの答弁だった。町が積極的に関わらないと改善しないのでは。

保健福祉課長補佐 地域で検討いただければと思う。

副町長 民生委員は70人、すべて町から行くのは厳しい。今後の検討課題。



さだ まつ こうすけ
定松 弘介 議員

問 第4次総合計画の策定に向けて、魅力ある豊かなまちづくりへの町長の思いは

答 誰もが安心して暮らせることができ、次の世代が町に誇りを持てるようにしたい

議員 「人と大地がう

るおい輝く豊穡のまち」の実現に向けた町長の思いは。

町長 町民の福祉の向上、笑顔で元気に

暮らせる「豊かなまち」を、これまで以上のレベルになるよう創っていく。
また4つの柱として
①さらなるひとづくり

②さらなる農林水産業と商工業の振興
③さらなる安心安全なまち
④しろいしをもっとPR
を公約に4期目をスタートした。第4次総合計画は、町民アンケートを踏まえて、4つの柱を素案に基本目標を定めている。行政の考えだけではなく、町民みなさんの思いを丁寧に聞き取り、まち全体のビジョンとしてまとめ上げる役割を担うものが総合計画であると考えている。

特に力を入れていきたい施策は。
町長 時代の変化は速く、まちを取り巻く環境も常に変化している。
少子高齢化、環境問題、情報化社会の進展など、さまざまな課題に対応しながら、まちが持続的に発展していくためには、長期的な視点の計画が不可欠である。重点施策」として、
①移住・定住の促進
②防災対策の推進
③子育て支援
④まちの魅力発信
⑤学校教育の充実
⑥参加と協働の促進の6つの施策を考えている。また、町民に白石町の取り組みを理解していただき、魅力を再認識してい

ただくことで、白石町に対する「シビックプライド」を醸成していく。取り分け、ブランドメッセージである「しろめし町しろいし町」の活用や各施策と広報活動を連動させた、プロモーションを実施し、町内・町外へ魅力発信の強化を図りたい。

総合計画は、まちの将来像を描がき実現するための設計図と思っている。みなさんが、「こんなまちになつたらいいなあ」という思い具体的な形にする大切な指針となるよう、今後も引き続き策定に向けた作業を進める。



●しろいしべったんこ祭

総務常任委員会

自治体DX、議会改革・活性化に関する調査

11月5日、㈱トラスバンクを訪問し、ふるさと納税事業の現状について意見交換を行った。

なお、6日には神奈川県寒川町を訪れ、議会改革・活性化への取組の視察研修を行った。主権者教育に力を入れており、若者への発信、イベントなどを通じ、議会を身近に感じてもらう取組は、より開かれた議会運営を目指す姿勢として大変参考になった。

また、7日には参議院議員の山下雄平氏、福岡資麿氏を表敬訪問し、国会情勢等の報告、白石町の課題への要望活動を行った。



●寒川町役場にて意見交換

文教厚生常任委員会

企業誘致に伴う行政の対応と支援策等調査

11月5日、熊本県大津町を訪れ、TSMC関連企業の誘致に伴うまちづくりや子育て支援の取組、議会活性化の取組に関する調査を行った。

建設ラッシュによる農地不足が生じ、代替地など農地を減らさないような対策がなされていた。

6日には、㈱エコポート九州、水俣市を訪れ、プラごみリサイクルの現地調査、水俣病やごみの分別について説明を受けた。分別の現場を目的の当たりにし、リサイクルの意識を日頃から持ち生活することの大切さを改めて認識した。

さらに、7日には「このよりのゆりかご」（通称赤ちゃんポスト）の開設に携わられた田尻由貴子氏を訪問した。孤立する女性の相談窓口の必要性、傾聴・共感・寄り添いの大切さなど学ぶことが多く意義深い研修となった。



●シェアハウスにて田尻由貴子氏に話を伺う

産業建設常任委員会

廃校の利活用（道の駅）等に関する調査

10月30日、千葉県の道の駅保田小学校を訪れ、廃校施設の利活用、地域活性化につながる取組について調査を行った。住民の交流拠点としての役割を担いつつ、観光客の滞在促進にも効果を上げていた。廃校などの公共施設の利活用において、官民連携手法や複合施設化など参考となる点が多かった。

また、31日には大田市場、JAさが東京営業所を訪問。全国最大規模の中央卸市場である大田市場においては、農産物の流通実態や品質管理など説明を受け施設を視察した。JAさが東京営業所では、首都圏における佐賀県農産物の販売戦略、今後の市場性について意見交換でき、町の農産物の販路拡大に向け大いに参考となった。



●大田市場にて説明を受ける

第69回町村議会議長全国大会

11月12日、東京都内で開催された第69回町村議会議長全国大会に、内野さよ子議長が参加しました。「議会への多様な人材参画及び議会の機能強化」など要望37件および決議・特別決議が決定され、国や関係省庁などへ要望することとなりました。



最近の主な議会活動(10月～12月)

	日	曜	行 事
10月	1	水	白石中学校学校訪問
			議長行政視察(～10日)
	8	水	戦後80年佐賀県戦没者追悼式 有明地域づくり協議会設立準備委員会
	9	木	白石町環境審議会 岩手県紫波町議会視察対応
	11	土	ありあけ幼稚園運動会
	12	日	町民スポーツ大会
			議員例会、議員説明会
	14	火	議会広報特別委員会 議会活性化特別委員会
	15	水	全国土地改良大会
	16	木	差別の現実に学ぶ研修会
	17	金	国道207号改良促進期成同盟会要望活動 白石産「璃の香」愛称お披露目式
	18	土	県民スポーツ大会競技応援(～19日)
	21	火	天皇陛下御即位佐賀県奉祝委員会解散総会
	22	水	佐賀県西部広域環境組合議会定例会議案勉強会
	25	土	北明小学校運動会 有明東小学校運動会
	26	日	六角小学校運動会 有明南小学校運動会
	27	月	鹿島市、白石町、太良町議会議員交流会
	28	火	町村議会議長会議長会議 政経懇話会
	29	水	佐賀県西部広域環境組合議会定例会 産業建設常任委員会視察研修(～31日)
	30	木	白石町シルバー人材センター要望書提出

	日	曜	行 事
11月	5	水	総務常任委員会視察研修(～7日) 文教厚生常任委員会視察研修(～7日)

	日	曜	行 事
11月	9	日	須古小学校150周年記念式典、須古まつり
			議員例会、議員説明会
	10	月	議会活性化特別委員会 有明小学校見学会
	11	火	白石中学校公開授業 佐賀県市町行政講演会
	12	水	町村議会議長全国大会
	16	日	しろいしぺったんこ祭 全国過疎地域連盟総会
	17	月	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
	18	火	有明地域づくり協議会設立準備委員会
	20	木	婚活サポーター情報交換会
	23	日	六角小学校創立150周年記念式典 議会運営委員会
	25	火	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会 白石町総合計画審議会
	26	水	政経セミナー
	30	日	有明地域づくり協議会設立総会

	日	曜	行 事
12月	4	木	白石町商工会要望書提出
	5	金	12月定例会開会、議案勉強会
	7	日	白石小学校150周年を祝う会 白石町教育の明日を考える集会
	8	月	一般質問(4人)
	9	火	一般質問(4人)
	10	水	一般質問(2人)、全員協議会、議員説明会
	11	木	議案審議、議会活性化特別委員会
	12	金	議案審議、閉会、議会広報特別委員会
	15	月	白石町社会福祉協議会理事会他
	23	火	白石町社会福祉協議会理事会他



要望書を受け取りました

- 県道久間・大町線 馬田橋(白石町)橋梁取付け部西側法面の草等の繁茂防止対策についての要望

提出者 白石町馬田区長 相島千代治

- 地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望

提出者 一般社団法人白石町シルバー人材センター代表理事 吉田 義敏

- 白石町商工業振興対策事業補助金等の要望ほか

提出者 白石町商工会会長 坂口 誠

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

議会での議論や活動を、いかに分かりやすく町民の皆様にお伝えできるか。編集委員として、この1年そのことを考えながら議会だよりの制作に携わってまいりました。

議会は町民の皆様の声を町政に反映させる場であり、議会だよりはその架け橋となるものです。しかし、届けるだけでなく、読んでいただき、関心を持っていただいてこそ意味があります。

今年も、より読みやすく、親しみやすい紙面づくりを心がけてまいります。

町民の皆様からのご意見、ご感想もお待ちしております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。《田島》



しろいしみのりちゃん

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第48話「しろいしぺったんこ祭」



白石町議会だよりの第83号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611
E-mail gikai@town.shiroishi.lg.jp

編集/議会広報特別委員会
責任者/白石町議会議長 内野さよ子

広報委員 委員長 定松弘介
副委員長 友田香将雄
委員 吉岡正博 田島隆一 南里隆司 溝上広行

